

2021年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2020年7月28日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <https://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長 CEO

氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長

TEL (075)344-7070

氏名 大上 高充

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け電話およびウェブ説明会 7月28日開催)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日 ~ 2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	146,465	△8.5	12,463	24.2	13,279	21.2	9,690	13.5
2020年3月期第1四半期	160,037	△9.9	10,032	△41.2	10,959	△39.0	8,540	△41.8

(注1) 四半期包括利益 2021年3月期第1四半期 9,543百万円(△43.3%) 2020年3月期第1四半期 16,840百万円(23.6%)

(注2) 2020年3月期第1四半期の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業(2019年10月31日に譲渡したオートモーティブ・エレクトロニック・コポネンツ・ビジネス(AEC、車載事業))にかかる非継続事業四半期純利益を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第1四半期の当社株主に帰属する四半期純利益は7,755百万円であり、これをもとに算定した2021年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率は25.0%です。

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社 株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	48	03	—	—
2020年3月期第1四半期	41	59	—	—

(注) 2020年3月期第1四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第1四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は37円76銭です。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	742,613	540,586	538,573	72.5
2020年3月期	758,124	532,589	530,415	70.0

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	42	00	—	42	00
2021年3月期	—	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	84	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

2021年3月期の第2四半期末および期末の配当金は未定です。

詳細は、添付資料2ページ「1.業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前 当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	590,000	△13.0	30,000	△45.2	25,000	△51.8	16,500	△78.0	81	81

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

詳細は、添付資料2ページ「1.業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

(注2) 当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率の算定に使用した前期(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業当期純利益を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は△57.9%となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名） : 有・無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	206,244,872 株	2020年3月期	206,244,872 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,571,447 株	2020年3月期	4,306,748 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	201,739,429 株	2020年3月期1Q	205,361,316 株

(注) 2021年3月期第1四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式760,568株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「2. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 2020年3月期第1四半期の連結業績および四半期連結損益計算書並びに2020年3月期の連結業績において、2019年10月31日に譲渡したオートモティブ・エレクトロニックコンポーネンツビジネス（AEC、車載事業）を非継続事業に分類しています。当該非継続事業の金額は、四半期純利益、当社株主に帰属する四半期（当期）純利益、1株当たり当社株主に帰属する四半期（当期）純利益に含めています。
- 当社は、2020年7月28日（火）投資家向け電話およびウェブ説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
EMC： エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツビジネス（電子部品事業）
SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

○添付資料の目次

1. 業績予想及び配当予想に関するお知らせ	P. 2
2. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 3
(1) 経営成績に関する説明	P. 3
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 14
(会計上の見積りの変更)	P. 14
(セグメント情報)	P. 15
4. 補足情報	P. 16
(1) 連結業績概要	P. 16
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 17
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 18
(4) 期中平均為替レート実績	P. 18
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 19
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 20
(7) 期中平均為替レート予想	P. 20

1. 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年4月23日に公表した「2020年3月期 決算短信〔米国基準〕(連結)」において、未定としていました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想及び配当予想について、以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

(1) 業績予想について

当期(2021年3月期)における当社グループの業績は、グローバルで新型コロナウイルス感染症の影響が少なくとも当期中は継続すると想定し、大幅な減収減益を見込んでいます。なお、第2四半期以降の前提為替レートは1米ドル106円、1ユーロ120円、1人民元15円です。その結果、当期の期中平均為替レート予想は1米ドル106.5円、1ユーロ119.6円、1人民元15.0円です。(詳細は6ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」のとおりです。)

	売上高	営業利益	継続事業 税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	5,900億円	300億円	250億円	165億円	81円81銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	6,780億円	548億円	518億円	749億円	365円26銭

(注) 前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業(2019年10月31日に譲渡したオートモティブ・エレクトロニクス・コンポーネツビジネス(AEC、車載事業))にかかる非継続事業当期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益は392億円、1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は191円00銭です。

(2) 配当予想について

当社の株主還元方針は、「企業価値の持続的な向上を目指し、将来の成長に必要な研究開発、設備投資、M&Aなどの投資を優先し、そのための内部留保を確保したうえで、資本効率を勘案し、安定的、継続的に株主の皆さまへ還元を図っていく」としています。また、「中期経営計画(呼称VG2.0)期間は配当性向30%程度およびDOE 3%程度を目安として、利益還元に努める」としています。

上記の方針に基づき当期はDOE基準を適用し、2021年3月期の年間配当予想を前期と同額の84円とします。2021年3月期の中間配当および期末配当は未定とします。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	—	—	—
今回修正予想	—	—	84円00銭
当期実績 (2021年3月期)	—	—	—
前期実績 (2020年3月期)	42円00銭	42円00銭	84円00銭

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第1四半期（2020年4月～6月）における当社グループの業績は、前年同期比で減収増益となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が拡大してグローバルに需要が減少し、当社の主要顧客である製造業、特に自動車業界において設備投資が低調に推移しました。一方で、デジタル業界の一部では設備投資の回復が見られました。また、コロナ禍において防疫必需品や衛生用品などの生産設備や血圧計・体温計への需要が急増し、変化対応力を発揮してこれらの社会的ニーズに応えました。

売上高は前年同期比で減少しましたが、商品力の強化や構造改革などに継続して取り組み、売上総利益率を向上させました。また、期初から年間200億円規模の固定費削減の運営をスタートさせており、当第1四半期は計画通りに進行させました。これらの結果、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

当第1四半期の業績結果は以下のとおりです。

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	1,600億円	1,465億円	△8.5%
売上総利益 (売上総利益率)	715億円 (44.7%)	664億円 (45.3%)	△7.2% (+0.6P)
営業利益 (営業利益率)	100億円 (6.3%)	125億円 (8.5%)	+24.2% (+2.2P)
継続事業 税引前四半期純利益	110億円	133億円	+21.2%
当社株主に帰属する 四半期純利益	85億円	97億円	+13.5%
米ドル平均レート	110.7円	107.9円	△2.8円
ユーロ平均レート	123.6円	118.3円	△5.3円
人民元平均レート	16.3円	15.1円	△1.2円

(注) 2020年3月期第1四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益を含めています。なお、非継続事業四半期純利益を除いて算定した2020年3月期第1四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益は78億円であり、これをもとに算定した増減率は+25.0%です。

○ セグメント別の状況

IAB (制御機器事業)

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	891億円	821億円	△7.9%
営業利益	133億円	138億円	+4.0%

<売上高の状況>

デジタル業界では、旺盛な半導体関連投資を取り込み、売上高は好調に推移しました。また、マスク増産などの防疫関連投資への迅速な対応が、売上高を下支えしました。一方で、自動車業界での投資抑制に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によりグローバルレベルで経済活動が停滞したことにより、需要が大きく減少しました。これらに加えて、円高による為替の影響もあり、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少および円高の影響を受けましたが、固定費の抑制などにより、営業利益は前年同期比で増加しました。

EMC (電子部品事業)

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	230億円	180億円	△21.9%
営業利益	0億円	1億円	+1520.0%

<売上高の状況>

新型コロナウイルス感染症の影響によりグローバルで顧客の生産活動や販売活動が停滞し、特に、自動車業界や民生向けで厳しい状況が継続しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少および円高の影響を受けましたが、固定費の抑制などにより、営業利益は前年同期比で横ばいとなりました。

SSB (社会システム事業)

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	173億円	181億円	+4.9%
営業利益 (△損失)	△14億円	△9億円	—

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックアップ事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメント及び「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第1四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

<売上高の状況>

駅務システム事業では、顧客の設備導入の一部が前倒しとなり、好調に推移しました。一方、エネルギーコンポ事業では、新型コロナウイルス感染症対策による社会活動自粛の影響を受けて、蓄電システムの販売が低調に推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や生産性の向上などにより、損失額が前年同期比で改善しました。

HCB（ヘルスケア事業）

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	277億円	266億円	△4.1%
営業利益	34億円	45億円	+31.9%

<売上高の状況>

新型コロナウイルス感染症の影響で家庭での健康管理のニーズが高まり、日本、欧州、中南米において血圧計、体温計の需要が増加しました。一方、中国、アジア、北米では外出制限などの影響で顧客の購買行動が鈍り、需要は低調に推移しました。総じて販売は回復傾向にあったものの、円高による為替の影響があり、売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

円高の影響を受けながらも、売上総利益率を向上させたことなどにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

○ 財政状態

当社グループでは、持続的な企業価値向上に向けた投資を積極的に実行するとともに、資本効率を重視したROI経営を継続しています。

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末の受取手形及び売掛金の回収が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ155億円減少して、7,426億円となりました。また、負債の部は、支払手形及び買掛金・未払金や未払費用の減少などにより、前連結会計年度末に比べ235億円減少して、2,020億円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ80億円増加して、5,406億円となりました。以上より、株主資本比率は前連結会計年度の70.0%から72.5%となり、強固な財務基盤が維持されています。手元預金は1,959億円を保有しており、加えて金融機関との間で300億円のコミットメントライン契約を締結しています。また、格付け機関から長期発行体格付けとして「安定的」の高格付けを獲得しており、高い資金調達力を維持しています。新型コロナウイルス感染症による不透明な事業環境下においても、グローバルで金融機関との良好な関係を維持しながら、資金流動性と調達力を確保してまいります。

○ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

四半期純利益や減価償却費の計上、売上債権の減少などにより275億円の収入（前年同期比103億円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資本的支出などにより46億円の支出（前年同期比16億円の支出減）となりました。

なお、当連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの金額から投資活動によるキャッシュ・フローを控除したフリーキャッシュ・フローの金額は229億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや自己株式の取得などにより、113億円の支出（前年同期比26億円の支出増）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ104億円増加し、1,959億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

○ 全般的見通し

当期（2021年3月期）における当社グループの業績は、グローバルで新型コロナウイルス感染症の影響が少なくとも当期中は継続すると想定し、大幅な減収減益を見込んでいます。

売上高については、IAB（制御機器事業）、EMC（電子部品事業）、SSB（社会システム事業）においては、顧客の生産販売活動の停滞や設備投資の抑制などにより需要は低調に推移し、前期比で大幅な減少を見込んでいます。HCB（ヘルスケア事業）においては、グローバルで健康管理ニーズの高まりによって需要が堅調に推移すると見えています。売上総利益率については、引き続き商品力の強化や構造改革などに取り組み、過去最高となった前期並みを見込んでいます。また、年間200億円規模の固定費削減の運営を期初の計画通り実行する一方で、アフターコロナを見据えた将来の成長に不可欠な投資を継続します。これらを前提に、営業利益は前期比で大幅な減少を見込んでいます。

当期の業績見通しは以下のとおりです。

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	6,780億円	5,900億円	△13.0%
売上総利益 (売上総利益率)	3,037億円 (44.8%)	2,645億円 (44.8%)	△12.9% (+0.0P)
営業利益 (営業利益率)	548億円 (8.1%)	300億円 (5.1%)	△45.2% (△3.0P)
継続事業 税引前当期純利益	518億円	250億円	△51.8%
当社株主に帰属する 当期純利益	749億円	165億円	△78.0%
米ドル平均レート	109.1円	106.5円	△2.6円
ユーロ平均レート	121.2円	119.6円	△1.6円
人民元平均レート	15.7円	15.0円	△0.7円

(注1) 2020年3月期の当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業当期純利益（AECの売却益を含む）を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した2020年3月期の当社株主に帰属する当期純利益は392億円であり、これをもとに算定した増減率は△57.9%です。

(注2) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、当期（2021年3月期）より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。この変更により、従来と比較して当期の年間（2021年3月期）の減価償却費は約20億円減少する見込みです。

○ セグメント別の見通し

IAB (制御機器事業)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
外部顧客に対する 売上高	3,528億円	3,070億円	△13.0%
営業利益	536億円	350億円	△34.7%

<売上高の状況>

モノづくり現場の課題解決に向けたソリューション提案を引き続き強化します。さらに、新型コロナウイルス感染症影響により益々強まる自動化・省人化ニーズへの対応に注力します。一方で、デジタル業界では、第1四半期に増加した需要が落ち着くと想定しています。また、自動車業界では、設備投資需要の回復に時間を要すると見えています。以上の厳しい事業環境の継続、および円高による為替の影響を受けることから、当期の売上高は前期比で大幅な減少を見込みます。

<営業利益の状況>

売上高の減少や円高の影響などにより、当期の営業利益は前期比で大幅な減少を見込みます。

EMC (電子部品事業)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
外部顧客に対する 売上高	884億円	760億円	△14.0%
営業利益	9億円	5億円	△45.5%

<売上高の見通し>

新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、特に、自動車業界の市況回復には時間を要すると見えています。民生向けでも厳しい事業環境が続くと見込んでいますが、顧客の新たなニーズを着実に取り込んでいきます。これらの結果、当期の売上高は前期比で大幅な減少を見込みます。

<営業利益の見通し>

売上高の減少や円高の影響などにより、当期の営業利益は前期比で減少を見込みます。

SSB (社会システム事業)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,160億円	930億円	△19.8%
営業利益	109億円	50億円	△53.9%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメント及び「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

<売上高の見通し>

駅務システム事業では、顧客の旅客収入の減少の影響で投資が大幅に見直されると見えています。また、エネルギーコンポ事業では蓄電システム市場は拡大傾向であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、顧客の営業活動が制限されて販売が低調に推移すると見えています。これらの結果、当期の売上高は前期比で大幅な減少を見込みます。

<営業利益の見通し>

売上高の減少などにより、当期の営業利益は前期比で大幅な減少を見込みます。

HCB (ヘルスケア事業)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,120億円	1,120億円	+0.0%
営業利益	135億円	150億円	+11.1%

<売上高の見通し>

新型コロナウイルス感染症の拡大によってグローバルで人々の健康管理ニーズが高まり、血圧計・体温計の需要が増加するものと見えています。また、外出制限などが継続する中で、オンラインチャネルでの販売を拡大します。一方で、円高による為替の影響も見込んでいます。これらの結果、当期の売上高は前期比で横ばいを見込みます。

<営業利益の見通し>

高付加価値商品の販売増加による売上総利益率の改善などにより、当期の営業利益は前期比で大幅な増加を見込みます。

○ 財政状況の見通し

当期においては、需要変動に対応した運転資金の適切な管理を継続すると共に、アフターコロナを見据えた将来の成長につながる設備投資・投融资を厳選して実施してまいります。また、財務活動では、グローバル経済・金融情勢を鑑みながらグループ全体で適切な資金配置を行ってまいります。

当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、1,959億円であり、第2四半期以降の事業活動に十分な資金を維持できていると考えています。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	447,139	59.0	434,586	58.5
現金及び現金同等物	185,533		195,885	
受取手形及び売掛金	134,786		106,746	
貸倒引当金	△ 759		△ 766	
たな卸資産	104,301		109,726	
売却予定資産	441		447	
その他の流動資産	22,837		22,548	
有形固定資産	114,526	15.1	111,837	15.1
土地	20,446		20,422	
建物及び構築物	129,110		123,350	
機械その他	147,038		146,866	
建設仮勘定	5,467		4,526	
減価償却累計額	△ 187,535		△ 183,327	
投資その他の資産	196,459	25.9	196,190	26.4
オペレーティング・リース 使用権資産	30,327		29,870	
のれん	38,568		38,131	
関連会社に対する 投資及び貸付金	29,251		28,731	
投資有価証券	25,782		28,109	
施設借用保証金	7,486		7,401	
繰延税金	37,416		36,890	
その他の資産	27,629		27,058	
資産合計	758,124	100.0	742,613	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	151,299	20.0	128,964	17.4
支払手形及び買掛金・未払金	64,496		59,809	
未 払 費 用	37,179		27,445	
未 払 税 金	2,516		3,019	
短期オペレーティング・リース負債	11,070		10,979	
そ の 他 の 流 動 負 債	36,038		27,712	
繰 延 税 金	1,717	0.2	1,555	0.2
退 職 給 付 引 当 金	40,236	5.3	39,020	5.3
長期オペレーティング・リース負債	19,820	2.6	19,916	2.7
そ の 他 の 固 定 負 債	12,463	1.6	12,572	1.6
負債の部合計	225,535	29.7	202,027	27.2
(純資産の部)				
株 主 資 本	530,415	70.0	538,573	72.5
資 本 金	64,100	8.5	64,100	8.6
資 本 剰 余 金	100,521	13.3	100,649	13.5
利 益 準 備 金	20,981	2.8	22,307	3.0
そ の 他 の 剰 余 金	451,768	59.6	460,131	62.0
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 83,606	△ 11.0	△ 83,822	△ 11.3
為 替 換 算 調 整 額	△ 31,408		△ 32,138	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 52,250		△ 51,548	
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	52		136	
自 己 株 式	△ 23,349	△ 3.2	△ 24,792	△ 3.3
非 支 配 持 分	2,174	0.3	2,013	0.3
純資産の部合計	532,589	70.3	540,586	72.8
負債及び純資産合計	758,124	100.0	742,613	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 〕		当第1四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日 〕	
		金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%
売 上 高		160,037	100.0	146,465	100.0
売 上 原 価		88,512	55.3	80,086	54.7
売 上 総 利 益		71,525	44.7	66,379	45.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		49,915	31.2	43,647	29.8
試 験 研 究 開 発 費		11,578	7.2	10,269	7.0
営 業 利 益		10,032	6.3	12,463	8.5
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -		△ 927	△ 0.5	△ 816	△ 0.6
継 続 事 業 税 引 前 四 半 期 純 利 益		10,959	6.8	13,279	9.1
法 人 税 等		2,659	1.7	3,535	2.4
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)		473	0.2	△ 13	△ 0.0
継 続 事 業 四 半 期 純 利 益		7,827	4.9	9,757	6.7
非 継 続 事 業 四 半 期 純 利 益		785	0.5	—	—
四 半 期 純 利 益		8,612	5.4	9,757	6.7
非 支 配 持 分 帰 属 損 益		72	0.1	67	0.1
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益		8,540	5.3	9,690	6.6

(注) 前第1四半期連結累計期間の四半期純利益および当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純利益を含めています。

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 〕	当第1四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日 〕
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		8,612	9,757
その他の包括利益（△損失）－税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額		△ 10,788	△ 728
退 職 年 金 債 務 調 整 額		19,139	702
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益		△ 123	△ 188
そ の 他 の 包 括 利 益 （ △ 損 失 ） 計		8,228	△ 214
四 半 期 包 括 利 益		16,840	9,543
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		43	69
当社株主に帰属する四半期包括利益		16,797	9,474

(注) 前第1四半期連結累計期間の四半期純利益には、非継続事業四半期純利益を含めています。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
			〔 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 〕		〔 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日 〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 四 半 期 純 利 益				8,612		9,757
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整						
(1) 減 価 償 却 費		7,196			6,016	
(2) 固定資産除売却益(純額)	△	20			△ 15	
(3) 投資有価証券評価益(純額)	△	68			△ 1,942	
(4) 退職給付引当金		628			△ 148	
(5) 繰延税金		903			336	
(6) 持分法投資損益(△利益)		473			△ 13	
(7) 資産・負債の増減						
①受取手形及び売掛金の減少		26,388			28,039	
②たな卸資産の増加	△	7,324			△ 5,546	
③その他の資産の減少(△増加)	△	8,131			931	
④支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	6,788			△ 3,688	
⑤未払税金の増加(△減少)	△	1,093			480	
⑥未払費用及びその他流動負債の減少	△	3,153			△ 7,425	
(8) その 他 (純額)	△	464		8,547	722	17,747
営業活動によるキャッシュ・フロー				17,159		27,504
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入				933		0
2. 投資有価証券の取得	△	1,019			△ 307	
3. 資本的支出	△	7,015			△ 4,855	
4. 施設借用保証金の減少(純額)		15			84	
5. 有形固定資産の売却による収入		478			432	
6. そ の 他 (純額)		333			0	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 6,275		△ 4,646
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の減少(純額)	△	7			△ 1,166	
2. 親会社の支払配当金	△	8,625			△ 8,481	
3. 非支配株主への支払配当金	△	162			△ 230	
4. 自己株式の取得	△	4			△ 1,446	
5. そ の 他 (純額)		29			△ 14	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 8,769		△ 11,337
IV 換算レート変動の影響				△ 2,021		△ 1,169
現金及び現金同等物の増減額				94		10,352
期首現金及び現金同等物残高				110,250		185,533
四半期末現金及び現金同等物残高				110,344		195,885
非継続事業に係る四半期末現金 及び現金同等物残高(控除)				7,544		—
継続事業に係る四半期末現金 及び現金同等物残高				102,800		195,885
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				76		42
2. 法人税等の支払額				7,280		3,251
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務				4,679		2,432

(注) 前第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フロー計算書上、非継続事業のキャッシュ・フローは独立表示せずに継続事業のキャッシュ・フローと合算して表示しています。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

2021年3月期より、これまで定率法を採用していた当社および国内連結子会社につきまして、定額法に変更しています。

当社グループは、これまで、2011年にスタートした長期ビジョン「Value Generation 2020」および中期経営計画 (VG2.0) の成長戦略に基づき、注力ドメインであるIAB (制御機器事業)、HCB (ヘルスケア事業) およびSSB (社会システム事業) を中心に生産・開発拠点への投資を実施しており、前連結会計年度には、当社野洲事業所及び桂川事業所の増築やオムロンヘルスケア株式会社松阪工場の建替えを行いました。また、EMC (電子部品事業) では、グローバル生産体制の構築のために生産拠点統廃合や生産ラインの集約などを進めました。さらには、AEC (車載事業) の売却などによる事業ポートフォリオの見直しも進めてきました。これらの結果、今後、当社および国内連結子会社における設備の安定的な稼働と、設備投資や修繕維持費の平準化が見込まれます。

以上の状況を契機として、定額法による減価償却方法が、安定的な設備の稼働が見込まれる有形固定資産の使用実態をより適切に反映する方法であると判断し、変更を実施しました。なお、この減価償却方法の変更については、FASB会計基準書250「会計上の変更及び誤謬の修正」に基づき会計上の見積りの変更として取扱い、変更による影響は将来にわたり認識されます。

この変更により、従来と比較して当第1四半期連結累計期間の減価償却費は379百万円減少し、当社株主に帰属する四半期純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ288百万円および1円43銭増加しました。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	89,121	22,988	17,253	27,708	157,070	2,967	160,037
(2)セグメント間の内部売上高	1,330	11,317	2,029	6	14,682	△ 14,682	—
計	90,451	34,305	19,282	27,714	171,752	△ 11,715	160,037
営業費用	77,175	34,300	20,637	24,315	156,427	△ 6,422	150,005
営業利益 (△ 損失)	13,276	5	△ 1,355	3,399	15,325	△ 5,293	10,032

(注) 環境事業のSSBへの移管およびハックイト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第1四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	82,050	17,961	18,102	26,574	144,687	1,778	146,465
(2)セグメント間の内部売上高	1,245	10,818	1,782	124	13,969	△ 13,969	—
計	83,295	28,779	19,884	26,698	158,656	△ 12,191	146,465
営業費用	69,488	28,698	20,742	22,215	141,143	△ 7,141	134,002
営業利益 (△ 損失)	13,807	81	△ 858	4,483	17,513	△ 5,050	12,463

(注) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、2021年3月期より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。この変更による営業費用の前期比減少額 (IAB 83百万円、EMC 67百万円、SSB 60百万円、HCB 66百万円、消去調整他103百万円、合計379百万円) につきましては、各事業セグメントに配賦せず、合計379百万円的全額を消去調整他に計上しています。

[所在地別売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	33,026	5,472	17,182	5,183	60,863	2,604	63,467
米州	7,799	3,750	—	5,884	17,433	—	17,433
欧州	18,344	3,998	—	4,548	26,890	—	26,890
中華圏	20,165	6,480	60	9,338	36,043	352	36,395
東南アジア他	9,709	3,255	—	2,624	15,588	—	15,588
直接輸出	78	33	11	131	253	11	264
計	89,121	22,988	17,253	27,708	157,070	2,967	160,037

(注) 環境事業のSSBへの移管およびハックイト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第1四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	29,870	4,804	18,060	5,703	58,437	1,442	59,879
米州	6,642	2,229	—	5,499	14,370	—	14,370
欧州	13,295	2,243	—	4,752	20,290	—	20,290
中華圏	23,169	6,405	28	8,275	37,877	336	38,213
東南アジア他	9,061	2,253	—	2,255	13,569	—	13,569
直接輸出	13	27	14	90	144	0	144
計	82,050	17,961	18,102	26,574	144,687	1,778	146,465

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州
- (5) 直接輸出……………直送輸出取引

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第1四半期累計			通期		
		2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	160,037	146,465	91.5%	677,980	590,000	87.0%
営業利益 (率)	百万円 (%)	10,032 (6.3%)	12,463 (8.5%)	124.2% (+2.2P)	54,760 (8.1%)	30,000 (5.1%)	54.8% (△3.0P)
継続事業税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	10,959 (6.8%)	13,279 (9.1%)	121.2% (+2.3P)	51,836 (7.6%)	25,000 (4.2%)	48.2% (△3.4P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	8,540	9,690	113.5%	74,895	16,500	22.0%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	41円59銭	48円03銭	+6円44銭	365円26銭	81円81銭	△283円45銭
総資産	百万円	752,396	742,613	98.7%	758,124		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	521,176 (69.3%)	538,573 (72.5%)	103.3% (+3.2P)	530,415 (70.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,537円85銭	2,670円52銭	+132円67銭	2,626円62銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	17,159	27,504	+10,345	89,787		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△6,275	△4,646	+1,629	28,639		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△8,769	△11,337	△2,568	△29,430		
継続事業に係る四半期末現金及び 現金同等物残高	百万円	102,800	195,885	+93,085	185,533		

(注1) 連結子会社数は130社、持分法適用関連会社数は19社です。

(注2) 2020年3月期第1四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益には、非継続事業四半期(当期)純利益を含めています。なお、非継続事業四半期(当期)純利益を除いて算定した2020年3月期第1四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益と1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益は次のとおりです。

非継続事業四半期(当期)純利益を除いた当社株主に帰属する四半期(当期)純利益
2020年3月期第1四半期 78億円 (2021年3月期第1四半期における前年同期比 125.0%)
2020年3月期 392億円 (2021年3月期予想における前期比 42.1%)

非継続事業四半期(当期)純利益を除いた1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益
2020年3月期第1四半期 37円76銭 (2021年3月期第1四半期における前年同期比 +10円27銭)
2020年3月期 191円00銭 (2021年3月期予想における前期比 △109円19銭)

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		2020年3月期 第1四半期累計	2021年3月期 第1四半期累計	前年同期比
IAB	日本	330	299	90.4%
	米州	78	66	85.2%
	欧州	183	133	72.5%
	中華圏	202	232	114.9%
	東南アジア他	97	91	93.3%
	直接輸出	1	0	16.7%
	計	891	821	92.1%
EMC	日本	55	48	87.8%
	米州	38	22	59.4%
	欧州	40	22	56.1%
	中華圏	65	64	98.8%
	東南アジア他	33	23	69.2%
	直接輸出	0	0	81.8%
	計	230	180	78.1%
SSB	日本	172	181	105.1%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	1	0	46.7%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	0	0	127.3%
	計	173	181	104.9%
HCB	日本	52	57	110.0%
	米州	59	55	93.5%
	欧州	45	48	104.5%
	中華圏	93	83	88.6%
	東南アジア他	26	23	85.9%
	直接輸出	1	1	68.7%
	計	277	266	95.9%
消去調整他	日本	26	14	55.4%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	4	3	95.5%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	0	0	0.0%
	計	30	18	59.9%
合計	日本	635	599	94.3%
	米州	174	144	82.4%
	欧州	269	203	75.5%
	中華圏	364	382	105.0%
	東南アジア他	156	136	87.0%
	直接輸出	3	1	54.5%
	計	1,600	1,465	91.5%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第1四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	2020年3月期 第1四半期累計	2021年3月期 第1四半期累計	前年同期比
IAB	133	138	104.0%
EMC	0	1	1620.0%
SSB	△14	△9	—
HCB	34	45	131.9%
消去調整他	△53	△51	—
合計	100	125	124.2%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第1四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(4) 期中平均為替レート実績

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期 第1四半期累計	2021年3月期 第1四半期累計	前年同期比
米ドル	110.7	107.9	△2.8
ユーロ	123.6	118.3	△5.3
人民元	16.3	15.1	△1.2

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	日 本	1,400	1,185	84.6%
	米 州	326	260	79.8%
	欧 州	718	565	78.7%
	中 華 圏	688	710	103.2%
	東 南 ア ジ ア 他	394	345	87.6%
	直 接 輸 出	2	5	250.0%
	計	3,528	3,070	87.0%
EMC	日 本	228	200	87.7%
	米 州	136	110	80.9%
	欧 州	151	120	79.5%
	中 華 圏	241	230	95.4%
	東 南 ア ジ ア 他	125	100	80.0%
	直 接 輸 出	2	—	—
	計	884	760	86.0%
SSB	日 本	1,152	920	79.9%
	米 州	—	—	—
	欧 州	—	—	—
	中 華 圏	3	5	166.7%
	東 南 ア ジ ア 他	—	—	—
	直 接 輸 出	5	5	100.0%
	計	1,160	930	80.2%
HCB	日 本	261	265	101.5%
	米 州	216	210	97.2%
	欧 州	217	215	99.1%
	中 華 圏	314	320	101.9%
	東 南 ア ジ ア 他	108	105	97.2%
	直 接 輸 出	4	5	125.0%
	計	1,120	1,120	100.0%
消去調整他	日 本	74	15	20.3%
	米 州	—	—	—
	欧 州	—	—	—
	中 華 圏	14	5	35.7%
	東 南 ア ジ ア 他	—	—	—
	直 接 輸 出	—	—	—
	計	89	20	22.5%
合計	日 本	3,115	2,585	83.0%
	米 州	678	580	85.5%
	欧 州	1,085	900	82.9%
	中 華 圏	1,261	1,270	100.7%
	東 南 ア ジ ア 他	627	550	87.7%
	直 接 輸 出	14	15	107.1%
	計	6,780	5,900	87.0%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	536	350	65.3%
EMC	9	5	54.5%
SSB	109	50	46.1%
HCB	135	150	111.0%
消去調整他	△241	△255	—
合計	548	300	54.8%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(7) 期中平均為替レート予想

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
米ドル	109.1	106.5	△2.6
ユーロ	121.2	119.6	△1.6
人民元	15.7	15.0	△0.7